

地域密着型金融への取組み方針

長岡信用金庫は「顧客の繁栄と地域社会発展のために貢献します」を経営方針のひとつに掲げ、地域密着型金融の推進に積極的に取り組んでまいりました。

これからも、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めてまいります。

1. 基本的な考え方（地域密着型金融の目指すべき方向）

- (1) 地域経済の活性化や健全な発展のためには、地域の中小企業等が事業拡大や経営改善等を通じて経済活動を活性化していくとともに、地域金融機関を含めた地域の関係者が連携・協力しながら中小企業等の経営努力を積極的に支援していくことが重要と考えます。
- (2) 地域金融機関は、経営戦略や経営計画等の中で、地域密着型金融の推進をビジネスモデルの一つとして明確に位置づけ、自らの規模や特性、利用者の期待やニーズ等を踏まえて自主性・創造性を発揮しつつ、以下に示す「顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮」、「地域の面的再生への積極的な参画」、「地域や利用者に対する積極的な情報開示」の取組みを中長期的な視点に立って組織全体として継続的に推進することにより、顧客基盤の維持・拡大、収益力や財務の健全性の向上につなげていくことが重要と考えます。
- (3) 地域金融機関が、地域密着型金融を組織全体として継続的に推進していくためには、経営陣が主導性を十分に発揮して、推進態勢の整備・充実に努めていくことが重要と考えます。

2. 基本的な取組み

- (1) 「顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮」
お客様との日常的・継続的な関係から得られる各種情報を通じて経営の目標や課題を把握・分析した上で、適切な助言などによりお客様自身の課題認識を深めつつ、主体的な取組みを促し、同時に、最適なソリューションを提案・実行します。
- (2) 「地域の面的再生への積極的な参画」
お客様や関係機関との日常的・継続的な接触を通じて得られる各種の地域情報を収集・蓄積しつつ、地域経済の課題や発展の可能性等を把握・分析した上で、自らが貢献可能な分野や役割を検討し、地域の面的再生に向けて積極的に取組みます。
- (3) 「地域や利用者に対する積極的な情報開示」
地域密着型金融の取組みに関して、具体的な目標やその成果を地域やお客様に対し積極的に情報発信します。

平成 24 年 7 月